

鬼北町議会 12月定例会

第4回鬼北町議会定例会は12月13・14日の2日間に開催されました。会では議案17件が提案され、全ての案件について原案のとおり可決されました。

議案

- 宇和島地区広域事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更について
- 宇和島地区広域事務組合の規約変更に伴う財産処分について
- 鬼北町都市公園条例の制定について
- 鬼北町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町教育長の給与および旅費並びに勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町水道事業布設工事監督者の配置基準および資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 損害賠償に係る和解および損害賠償額の決定について

- 平成30年度鬼北町一般会計補正予算(第5号)について
- 平成30年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 平成30年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)について
- 平成30年度鬼北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 平成30年度鬼北町水道事業会計補正予算(第2号)について

一般質問

◆ 末廣 啓 議員

【鬼北町定住促進施策について】

問 現在、鬼北町の若者定住化策はどのようなものがあるか。

答 定住を促進するため、企画振興課関連では、ニータウン鬼北の里の分譲地を購入される若者に対し、分譲価

格を最高で30%割引く制度を実施している。さらに、太陽光発電設備を設置した住宅に補助金を支給する制度を設け、若者を含めた定住を促進しているところである。また、今後も活用できる空き家を調査し、空き家の所有者および管理者に対し、空き家バンクへの登録を促すとともに、若者移住者に必要な情報の収集・提供を図り、若い方に特典のある空き家関連の改修事業費補助金支給制度を設けている。

農林課関連では、鬼北町産材を使用して住宅を建築された方への補助や、農業公社で実施する農業研修制度によるイターン、Jターン、Uターン者等の新規就農者に対し、農業研修補助金および農業機械・施設整備費補助金を交付するなど、若者を含めた定住人口の確保に努めている。

問 子育て支援等に関する施策はどのようなものを打ち出しているのか。

答 乳幼児用・紙おむつ券の交付を県の補助事業で実施しているが、町では第1子を補助対象として加え、町単独事業として助成を行っている。また、保育料の軽減措置として、世帯で生計を一にしている子どもが複数いる場合、子どもの年齢に関わらず2人目を半額、3人目を降を無料とする措置を行っている。同様に、放課後児童クラブにおいても、同一世帯で2人以上入会した場合には、2人目を降を半額とする措置を行っている。

また、お子さんが医療機関を利用し

たときの支援策として、平成28年4月から医療費の助成枠を拡大し、県内市町で唯一、高校生等までの通院および入院医療費の窓口負担を無料としている。

その他には、共働き世帯への支援として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の設置や公民館での子ども預かり事業を実施するとともに、子育て支援センター「ゆめぼつけ」の運営を通じて、母親同士の交流や、保育の相談の場を提供し、地域の子育て家庭の育児支援を行っている。

【保育士の現状と待遇について】

問 町内全保育所の正規職員と臨時職員の人数と割合について

答 平成30年10月現在で、80人中正規職員が35人、臨時職員が45人となっており、割合としては正規職員が44%、臨時職員が56%となっている。

問 正規職員と臨時職員の業務内容はどのように区分されているのか。

答 クラス担任や書類作成等において、正規職員のみで行うことは困難となっているため、臨時職員の中でもクラス担任や書類作成を行っている職員もあり、作成する書類の量を除いては、職務内容はつきり区分するほどの差異はなくなってきたこともあり、臨時職員でクラスを担任したり、書類作成を行う職員については、日額賃金や手当を加算支給して対応している。